

# 洗心園だより

発行 社会福祉法人洗心会 特別養護老人ホーム洗心園

〒739-0452 廿日市市丸石二丁目7番47号

TEL 0829-55-0112 FAX 0829-55-0012

Eメールアドレス info@senshinen.or.jp

ホームページ <http://www.senshinen.or.jp/>

魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま制度

プラチナ認証法人



## 理 念

洗心会は仏教の教えをもとに創られた社会福祉法人であります。

老人福祉でも最も大切なのは介護する人の心であり、それは慈悲の心であります。

入所者も職員も大いなる命によって生かされている同行同朋（どうぎょうどうぼう）であります。

入所者に心やすらかな日々を送っていただくよう努めることが創業の理念です。

## 経営方針

- (1) 社会福祉法の倫理性、公共性に立脚した健全経営に努めます
- (2) 入所者の人格を尊重した福祉サービスの質の向上に努めます
- (3) 入所者及び家族との信頼関係を保ちます
- (4) 地域コミュニティとの交流を図ります
- (5) 情報を公開します



暑中お見舞い申し上げます。

今年の夏もまた酷暑が続きますが、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。

年に2回の洗心園だより、いつも何を書こうかと思案するのですが、昨今、福祉の業界においてもよく耳にするようになった事業のICT化について少しお話ししようと思います。

ご承知の通り日本の高齢化は今後さらに進み、それに伴い介護を必要とする高齢者も増えていきますが、少子化による人口減により働き手は減っていくため介護人材不足は必至です。この人材不足を解消するには人材確保に取り組むとともに業務の生産性を上げていくことが必要であり、そのための手段としてICT化が有効であろうと言われております。

そのメリットは大きく3つあり、一番大きなメリットとして挙げられるのが事務作業を効率化し、介護職員の負担を軽減させることです。

たとえば、介護職員が実施したサービス内容や利用者さんの状態などを紙媒体にメモしている場合、後でExcelやシステムにもう一度入力しなければならず二度手間になってしまいます。しかし、ICT化によりスマートフォンやタブレットで入力できる記録システムを導入すれば1回の入力作業で済みます。

また、見守りシステムを導入し、利用者さんの呼吸数、心拍数や眠りの深さ、状態変化を可視化すれば、夜間見回りの回数の低減や介護職員の負担軽減ができます。

2つ目は介護施設と病院、訪問介護事業所などとの情報の連携がしやすいということです。ICT化を進めて関係者が同じ情報を閲覧できるプラットフォームを導入すれば、利用者さんの情報を時間差なしで共有することが可能になります。

3つ目はデータを活用し介護サービスの質を向上させることです。医療・介護業界では、関係各所に患者さんや利用者さんにまつわるたくさんの情報が蓄積されています。紙媒体で管理されている情報ではその場限りしか利用されないことが多いですが、こうした情報を関連するデータと組み合わせて分析すれば多方面で質の向上につながられるでしょう。

現場職員の理解や協力、導入コスト等、課題も山積ですが、国も補助金や助成金で後押ししています。待ったなしの超高齢社会、ICT化のみならず介護ロボット導入や外国人雇用等、出来る限りの経営努力はしていきたいと思っております。



社会福祉法人 洗心会  
理事長 小笠原 健

## 理学療法士を採用して

洗心園では3月まで、機能訓練指導員として看護師を配置し、土曜日に2名の理学療法士に交代で来園いただいております。

看護師退職に伴い、本年4月に機能訓練指導員として経験豊富な理学療法士を正規職員として採用しました。

理学療法士とはPhysical Therapist (PT)とも呼ばれている国家資格です。ケガや病気などで身体的に障害を持ってしまった人や障害が現れることが予測できる人に対し、基本動作能力（寝返る・座る・立つ・歩くなど）の回復・維持、障害悪化の予防として運動療法や物理療法をしながら個人の自立した生活を支援します。

さて、PTによる日々のリハビリは、体操・ストレッチ・温熱・電気刺激・マッサージなど多岐にわたります。その間に歌を唄ったり、世間話をしたりと・・・入所者の皆さまの明るい笑い声を聞き心温まる今日この頃です。

平行棒を利用した歩行訓練やベッドから起き上がるための動作訓練、関節可動域を回復・維持するためのベッド上でのマッサージなどを施行された後の入所者さまにお話を伺うと、「楽になった」「頑張ろうと思う」「続けてやりたい」「たのしい」「ありがたいね」「助かります」などの声をたくさん聴きます。

また、多職種との連携も大切で、特に介護職員と共に日常生活動作の介助方法、ベッドや車椅子でのポジショニングなどで連携を図ることが多いです。

介護職員にとっては、「運動機能回復・維持」を専門にするスペシャリストに教えてもらえる良い機会となっています。

理学療法士により提出される、日々の入所者さまの記録を見るにつけ心から良かったと思っております。



施設長 高垣 恵美子

# 特養行事の様子



## 節分会・豆まき

それぞれのフロアで、節分会・豆まきをして、職員は今年も鬼になりました。紅白の玉を鬼にめがけて「エイッ!」。昼食は鬼の顔をしたお寿司が出ました。



## ひなまつり

午後から甘酒とお菓子を用意しました。甘酒は体の中からポカポカして温まりました。





## 花見会

旧施設から調達した桜や紅白幕を飾り、職員は法被を着てお花見気分♪  
昼食はお花見弁当を堪能していただきました。



## 花まつり

お釈迦様に甘茶をかけてお誕生を祝う花まつり。

まわりに飾られている花は職員が心を込めてアレンジメントしたものです。  
「まあ、今年も凄い綺麗じゃね〜」と利用者さまの声がとても嬉しいです。



## 鯉のぼりと兜の飾り

大きな兜の飾りを被り、皆さんカッコイイです。  
よ〜く見ると、2種類の兜があります。





## 喫茶まつり

今年もケーキ屋さんから選りすぐりのケーキを購入しました。

「どれが美味しいん?」「迷うね～」と喜んでおられました。



## そうめん流し

暑い夏は毎年『そうめん流し』をしています。

かき氷もあり、体の中からクールダウン。

流れてくるそうめんをすくって食べる・・・

それが楽しくて何杯もお替りをされました。



## 毎月のミニ喫茶 ～ご当地巡り～

毎月のミニ喫茶では、どこかに行ってみた気分を味わっていただくこと、ご当地巡りシリーズが始まりました。山陰・山口県など・・・各地の銘菓をご用意しています。



## 全員で記念撮影!!

2階・3階の広いフロアは、大きな窓から日の光が入ってとても明るいです。

晴れ・曇り・雨・風・雪など・・・季節の移り変わりやその日の天候を普段から感じていただける構造となっています。

窓越しに、2階・3階お互いの様子も見ることができます。



## 新型コロナウイルス感染症への対応

昨今、新型コロナウイルス感染症拡大により、「新しい生活様式」が定着していきました。日々の行動制限が当たり前として生活してまいりましたが、この度、5月12日、職員1名が新型コロナウイルスに罹患し、その後5月17日入所者様1名が罹患され、最終的に入所者様10名が罹患されました。

罹患された皆様の健康観察が終了するまで約一ヶ月間かかってしまいました。新型コロナウイルス感染症への対応という初めての経験で入所者様も職員もかなりの疲労困憊いたしました。

その間、西部保健所やJA広島総合病院認定感染看護師の指導を受け、職員全員が感染対策の考え方や個人防護具の着衣方法などの実技を学び日々の介護に取組みました。

一番大切なこととして、入所者様にストレスを感じていただかないように、毎日の生活リズムを崩さないように努めました。お蔭様で皆様元気で何事もないかのように、笑顔でレクリエーション等を楽しんでおられました。

西部保健所からは「感染者も大きく拡がることなく収束できたのは、皆様の日々の対応からだと思います。本当にお疲れ様でした。」と後日メールが届きました。

1名の陽性者が出ても、広島県・廿日市市への報告は勿論のこと、円滑な治療に繋げるために、連携医療機関・西部保健所へは日々の健康観察をメールで行いました。

さらに、嘱託医の黒崎医師がコロナウイルスの認定医として感染時の治療方針に積極的に取り組まれておられることが良い結果に繋がったように思います。

入所者様9名の罹患者は軽症でしたが、1名の方は基礎疾患があり中等症の診断で入院となりましたが、約2週間で退院され、現在は10名全員が洗心園で今まで通りの生活を送っておられます。

収束までの約1か月、入所者様が本当に協力的であったことは頭が下がり感謝です。

オミクロン株は弱毒化したとはいえ、これで終わりではありません。

今後も外部からウイルスや細菌を①持ち込まない②持ち出さない③拡げないことに努め、感染防止対策により一層力を注いで参ります。



感染委員 看護統括主任 中村 朱美

# デイサービス 季節の作品

## 鯉のぼり

デイサービスでは、季節の作品作りに力を入れています。5月は賑やかな鯉のぼりの飾りができました。利用者さまのお顔をはめ込んで、お化粧をしたり、全体を派手にしたり・・・とても個性的な作品ばかりでした。



### ～編集後記～

「洗心園だより」を作成するにあたり、半年分の写真を整理してみると、利用者さまはいつも笑顔でさまざまな行事を楽しんでおられます。

日々の生活では、人生の大先輩として色々なお話をしてくださいます。

利用者さまと接している時間は、とても穏やかで私にとって元気の源です。

K・N

# 令和3年度事業報告・決算報告

## 事業報告

事業名	延利用者数	備考
特別養護老人ホーム	30,133人	利用率98.3% 平均介護度4.10
短期入所生活介護事業	3,474人	利用率59.5% 平均介護度2.81
障害者短期入所事業	0人	
通所介護事業	5,075人	営業日308日
居宅介護支援事業	419件	介護予防サービス計画0件

## 収支決算報告

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	422,987	流動負債	73,611
基本財産	1,688,300	固定負債	938,367
その他の固定資産	162,375	負債の部合計	1,011,978
		基本金	56,951
		国庫補助金等特別積立金	193,629
		その他の積立金	0
		次期繰越活動増減差額	1,011,104
		純資産の部合計	1,261,684
資産の部合計	2,273,662	負債及び純資産の部合計	2,273,662

事業活動計算書

(単位：千円)

勘定科目		決算額
サービス	介護保険事業収益	457,476
	障害福祉サービス等事業収益	0
	経常経費寄附金収益	0
	サービス活動収益計	457,476
活動増減の部	人件費	279,751
	事業費	71,922
	事務費	58,251
	減価償却費	95,870
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△17,283
	サービス活動費用計	488,511
	サービス活動増減差額	△31,035
	サービス活動外増減差額	△4,616
	特別増減差額	0
	当期活動増減差額	△35,651
	前期繰越活動増減差額	1,046,755
	当期末繰越活動増減差額	1,011,103
	次期繰越活動増減差額	1,011,103